

令和五年度 卒業式 式辞

今年の冬は寒暖差が厳しく体調管理が大変でしたが、最近の日差しには少しずつぬくもりがあり、キャンパスの花や緑から春の息吹を感じます。季節は確実に移り変わり、この移り変わりは私たちの人生そのものです。

本日、ここに岐阜県立国際園芸アカデミーを卒業していく二十名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ご列席のご家族の皆様へも、心よりお祝いを申しあげます。

また、このたびはご多忙にも関わらず、岐阜県議会の田中勝士副議長はじめ多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、ここに岐阜県立国際園芸アカデミー卒業式を挙行できますことは、誠に大きな喜びでございます。

皆様方には平素から本学の教育運営に多大なご理解とご協力、ご支援を賜っておりますことに、この場をお借りしまして改めて厚く御礼申しあげます。

さて卒業生の皆さんは、一年前に花と緑の知識と技能を身に付けることを目標に、志を胸に抱いて本学に入学してこられました。今、今日のこのよき日を迎えるにあたって、このキャンパスで過ごしてきた楽しくもあり苦しくもあつたであろう様々なことが頭の中を駆け巡っていることと思えます。

この二年間は、まだまだ新型コロナウイルスという目に見えない敵に大きく影響を受け続けた歲月でした。楽しみにしていたであろう海外視察研修に行けず、国内の北海道視察に切り替えましたが、現状を受け入れ最善の努力により成果としてくれた皆さんに改めて敬意を表します。

花と緑があふれ自然の中にあるキャンパスで仲間とともに学んだ日々は、皆さんの人生にとってかけがいのないものです。

つらい時があつたからこそ、幸せを感じられた

裏切られて傷ついたからこそ、人に優しくできた

あのと看涙を流したからこそ、強くなれた

自信がなくて不安だからこそ、頑張ることができた  
どんな経験であつても人生に無駄なことは一つもありません。

そして、人との出会いはまさに天文学的な奇跡です。

すれ違つた人、好きな人、嫌いな人、助けられた人、喧嘩した人、やさしい人、厳しい人も奇跡のように巡り合つているからこそ、これからも一つ一つの出会いに感謝して、大切にしていってください。

皆さん、出会つてくださつてありがとうございます！

卒業後も本学の仲間と連携し、学びの成果を各々の場所から試してみてください。私たちは今後も皆さんにとって永遠のよきパートナーであることを深く認識し、皆さんの更なる学びの気持ちにしっかりと応えていきます。そして現実の壁にあたつたら、少しの時間でも本学に立ち寄つてみてください。皆さんがよい方向に向かつてもらえる力になれることでしょう。

最後にあたり、ここにめでたく皆さんが卒業を迎えることができるのは、たゆまぬ努力の賜物であるのはもちろんですが、支えていただけご家族や関係者のお陰でもあることも伝えておきたいと思ひます。

支えてくれるものの強さと優しさ、有難さに気づいて「感謝できる人」になつてく  
ださい。

そしていつか支える立場になつて世の中に尽くしてほしいと願つています。

「過去」を心の栄養として、「現在」をその実践とし、「未来」は自省と希望と挑  
戦、そして志の時です

さあ、これからは「できるかできないかではなくて、やるかやらないか！」です。

以上、皆さんの将来に幸多きことを祈つて、はなむけの言葉とします。

令和六年三月五日

岐阜県立国際園芸アカデミー 学長 今西 良共